

SEED (シード)

Vol.016
2023.9月

後期が始まり、キャンパスに学生が戻ってきました。令和5年度「駒大生社会連携プロジェクト」の採択プロジェクトの3団体から、夏季休業期間に行った活動の様子が寄せられました。また、今年12月に開催予定の「社会連携ゼミ」に関する情報もご紹介します。

【SDGs部門】医療健康科学部 村田 渉先生プロジェクト活動報告 駒澤大学高等学校との交流会を開催しました。 オープンキャンパスに再び協力しました。

駒澤大学高等学校との交流会を9月8日に開催しました。ここでは、放射線防護カードゲームおよびレントゲン写真模型の実践講義を行いました。放射線に対して興味を示し、意欲的に参加していた高校生の姿がとても印象的でした。

また先月と同様、オープンキャンパスでは放射線防護カードゲーム体験やレントゲン写真模型、MRI検査体験ツールを活用したミニ講義を実施しました。高校生だけでなく、その保護者の方々にも楽しんでいただけて、とても好評でした。どちらの活動も、学びの場を提供でき、また交流を深められ、私達プロジェクト参加メンバーにとって、有意義な経験となりました。たくさんのご参加ありがとうございました。

他にも、絵本作家の保科琢音さんやNPO法人 Medical PLAYの小野 浩二郎さんに指導いただきながら、放射線リテラシー向上をめざした環境省のぐるプロジェクトのドラマ企画部門へ申請を目指して準備中です。



駒澤大学高等学校との交流会の様子



オープンキャンパスの様子

【世田谷区部門】文学部 李 妍焱先生プロジェクト活動報告

充実した夏季休業期間中の活動：
インタビュー調査と2泊3日の合宿を実施

夏期休業期間中は各グループに別れ、それぞれの調査先にインタビューに向かいました。8月22日、世田谷区千歳烏山にあるコミュニティカフェ「ななつこのこ」、8月30日にはBONUSTRACK（世田谷区下北沢）の立ち上げに携わった吉備友里恵さんのもとに赴き、貴重なお話を聞かせていただきました。回数を重ねるごとにインタビュー調査に慣れてきたこともあり、非常に有意義な活動を行うことが出来ました。



また、9月7日～9日にかけて2泊3日の合宿を行いました。台風接近による大雨の影響で、当初予定していたようなスケジュールで行動することは出来ませんでしたが、ここまでのゼミ活動の振り返りや、それぞれが行ったインタビュー調査結果の共有などを行いました。2日目から3日目にかけては4年生も参加し、学年間の交流もより一層深めることができました。

今後は、ここまでの活動をつなぎ合わせて「ふかさわの台所」で行うダイアログが控えています。後期はより一層気を引き締めてプロジェクトに励んでいきます。



【産学官連携部門】文学部 藤野 一之先生プロジェクト活動報告

大阪・奈良で終末期の古墳の現地調査を実施
企画展示の開催に向けて準備中！

私たちは、代表的な終末期の古墳を現地調査し、今回の企画展示に反映させるために、8月17日(木)～18日(金)に大阪府と奈良県へ行きました！

私たちは、代表的な終末期の古墳を現地調査し、今回の企画展示に反映させるために、8月17日(木)～18日(金)に大阪府と奈良県へ行きました！

初日は、大阪府立近つ飛鳥博物館と周辺に位置する古墳時代後期頃に築造された一須賀古墳群の見学を行いました。一須賀古墳群は川角古墳群と同じく小規模な円墳からなる群集墳であり、後期以降の中心的な埋葬施設となった横穴式石室が現在でも良好に残っています。



2日目は、奈良県明日香村周辺の終末期古墳であるキトラ古墳・高松塚古墳・石舞台古墳などを見学しました。キトラ古墳や高松塚古墳は、石室内に四神や男女群像が描かれていることで有名な円墳です。石舞台古墳は蘇我馬子の墓とされる古墳であり、初日に見学した一須賀古墳群よりも大きな石材を用いて石室を作っています。



2日間の調査を通して、終末期の西日本では、川角古墳群と同じように小規模な円墳や複数の円墳からなる群集墳が形成されたことが分かりました。企画展示開催まで一か月もありませんが、引き続き展示の準備を頑張りたいと思います！

【産学官連携部門】経済学部 大前 智文先生プロジェクト活動報告

第三回「社会連携ゼミ交流会」

発表・聴講の参加を大募集中！

第三回「社会連携ゼミ交流会」が2023年12月16日（土曜日）14：00から種月ホールで開催予定です。

社会連携活動をゼミ活動に取り入れるなど関心・実績がある学内ゼミが一堂に会し、参加者間の情報交換や連携・交流活動を活発化させることを目的としたイベントです。

第一回、第二回とも参加ゼミの皆さんのご協力・ご尽力によって、大いに盛り上がりました。
写真は去年の様子です。



本学の社会連携活動を集約するとともに、結節点としての機能を発揮し、参加者間の相互交流や今後の連携の起点となるような対面のコミュニケーションの場となることを期待して、多くの方々のご参加をお待ちしております。

今年度は発表だけでなく、聴講の参加も大募集しています。

駒澤大学の社会連携に関する最新情報は、
社会連携センターのホームページでご案内しております。 → [社会連携センター「お知らせ」](#)